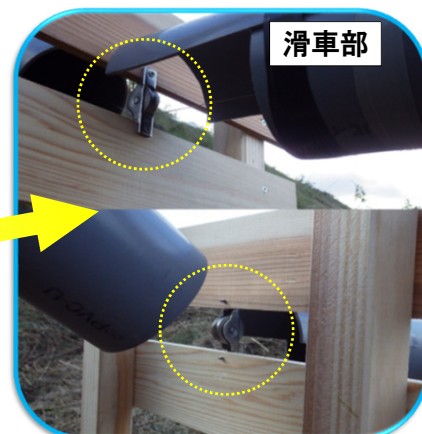


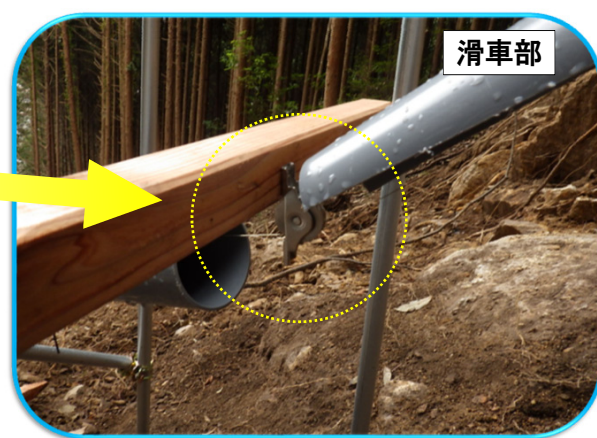
地形に合わせた伸縮計設置手法

伸縮計を設置する際に「断崖」や「くぼみのある地形」であったり、伸縮計と移動杭設置ポイントの間に地域住民の田畑等があるなど何らかの問題で設置に困ったことはないでしょうか？
そういった時は滑車を活用し地形に合わせて伸縮計を設置します。

■設置例①



■設置例②



◆解説

設置例①・②共に伸縮計設置位置から移動点までに斜面の角度が大きく変わっている箇所があります。
こういった現場ではインバー線を張る際に滑車を利用して地形に沿うように保護管を設置します。

■設置例③



◆解説

設置例③は保護管口の真下に移動杭があります。
観測方向が下向きになっているため保護管口付近に滑車を取り付けてインバー線の向きを移動杭側に曲げております。
この施工方法を取ることで地面の陥没観測も可能です。

弊社には現場経験豊富な施工専門スタッフが在籍しており、現場の状況に応じた適切な設置方法をご提案させて頂いております。